

日本生物学的精神医学会

会 員 通 信 第57号

目 次

日本生物学的精神医学会理事会議事録

武田雅俊 (理事長)

日本生物学的精神医学会理事会議事録

日 時：2009年4月23日(木) 8:30～11:00

場 所：国立京都国際会館 2階 「Room B-1」

出席者：18名

武田雅俊 (理事長), 林拓二 (会長), 加藤忠史, 加藤進昌, 小山司, 曾良一郎, 平安良雄, 本橋伸高, 米田博, 大久保善朗, 尾崎紀夫, 笠井清澄, 佐野輝, 白川治, 福田正人, 山脇成人 (以上理事), 渡辺義文 (監事), 中村純 (次期会長)

欠席者：2名

染矢俊幸 (理事), 松岡洋夫 (監事)
(順不同, 敬称略)

議 題：

1. 前回 (2009/3/1) 理事会議事録承認について
2. 理事長報告
3. 会計報告 (米田理事, 染矢理事)
 - ①2008年度決算報告 (2008年1月1日～12月31日)
 - ②2009年度予算案 (2009年1月1日～12月31日)
4. 会員数及び新入会員に関する件 (小山理事, 大久保理事)
5. 各委員会報告
 - 1) 総務委員会 (小山理事, 大久保理事)
 - 2) 財務委員会 (米田理事, 染矢理事)
 - 3) 国際交流委員会 (平安理事, 武田理事長)
 - 4) 学術賞委員会 (加藤 (忠) 理事)
 - 5) 倫理委員会 (本橋理事, 白川理事)
 - 6) 将来計画委員会 (加藤 (進) 理事, 笠井理事)
 - 7) 関連学会対応委員会 (佐野理事)
 - 8) 編集委員会 (曾良理事, 福田理事)

- 9) 広報委員会 (山脇理事)
- 10) ブレインバンク設立委員会 (加藤 (忠) 理事)
- 11) 研究推進ワーキンググループ (加藤 (忠) 理事, 笠井理事)
- 12) うつ病対策ワーキンググループ (加藤 (忠) 理事)
6. 学会賞選考の件 (加藤 (忠) 理事)
7. 国際学会発表奨励賞選考の件 (加藤 (忠) 理事)
8. WFSBP 報告 (尾崎 WFSBP Secretary-Treasurer)
9. 新評議員選考の件 (武田理事長)
 - 1) 新評議員選考
 - 2) 評議員選考方法について
10. 第31回年会準備状況報告 (林会長)
11. 第32回年会準備状況報告 (中村次期会長)
12. 第33回年会について (武田理事長)
13. その他 (武田理事長)

1. 前回理事会 (2009/3/1) 議事録承認について
議事録 (案) が配布された。特に訂正箇所なく承認された。また, 新理事会議事録 (案) が提示され, 特に訂正箇所なく承認された。

2. 理事長報告 (武田理事長)
武田理事長より, 就任の挨拶があった。
今後の活動方針などが述べられ, 関連学会対応委員会, 広報委員会を新たに設置し, ブレインバンク・ワーキンググループを設立委員会とし, 研究推進ワーキンググループ, うつ病対策ワーキンググループを新たに設置したことが説明された。
また, 国際交流委員会の活動の一環として, 2013年のWFSBPの誘致するため, WFSBPワーキンググループとして活動開始したことが報告された。

3. 会計報告 (米田理事)

1) 2008 年度決算について

収入 13,493,568 円に対し、支出 14,143,272 円であり、やや赤字ではあるが、概ね適正に運営されていることが報告された。次期繰越金は 33,167,679 円である。また、基金会計について、今後の国際大会の開催時などの原資とすることが方向性として認められた。

2008 年度決算は林、大久保両前監事により監査され、適正に処理されていることが認められたことが報告され、承認された。

2) 2009 年度収支予算案について

前年度の実績を踏まえて、予算収入は 15,318,500 円に対し、支出 15,615,000 円として計上され、承認された。「世界連合理事会出張費」として 300,000 円が計上されていたが、本年度の世界連合理事会の開催回数などを鑑み、450,000 円に訂正された。

4. 会員数及び新入会員に関する件 (小山理事)

1) 会員異動報告

2009 年 3 月 31 日現在で 1,597 名の会員がいることが報告された。

内 訳：名誉会員 13 名
評議員 200 名
正会員 1,381 名
賛助会員 3 社

2) 新入会員の報告

新入会員 36 名が報告され、承認された。

5. 各委員会報告

1) 新委員会構成の件

各委員長より、以下の通り報告され、承認された。

<総務委員会> 3 名

委員長 小山 司 北海道大学大学院医学研究科神経機能学講座精神医学分野

委員 大久保善朗 日本医科大学精神医学教室

橋本 亮太 大阪大学大学院医学系研究科附属子どものこころの分子統御機構研究センター

<財務委員会> 2 名

委員長 米田 博 大阪医科大学神経精神医学教室

委員 染矢 俊幸 新潟大学大学院医歯学総合研究科精神医学分野

<国際交流委員会> 6 名

委員長 平安 良雄 横浜市立大学医学部精神医学教室

委員 工藤 喬 大阪大学大学院医学系研究科精神医学教室

倉知 正佳 富山大学

神庭 重信 九州大学大学院医学研究科精神病態医学

尾崎 紀夫 名古屋大学大学院医学系研究科細胞情報医学専攻脳神経病態制御学講座精神医学分野

武田 雅俊 大阪大学大学院医学系研究科精神医学教室

<学術賞委員会> 5 名

委員長 加藤 忠史 理化学研究所脳科学総合研究センター精神疾患動態研究チーム

委員 岡本 泰昌 広島大学大学院医歯薬学総合研究科精神神経医科学

岩田 伸生 藤田保健衛生大学医学部精神医学教室

橋本 恵理 札幌医科大学医学部神経精神医学講座

住吉 太幹 富山大学医学部神経精神医学教室

<倫理委員会> 2 名

委員長 本橋 伸高 山梨大学大学院医学工学総合研究部生体環境医工学系精神神経医学・臨床倫理学講座

委員 白川 治 近畿大学医学部精神神経科学

<将来計画委員会> 5 名

委員長 加藤 進昌 昭和大学医学部精神医学教室

委員 笠井 清登 東京大学医学部附属病院精神神経科

久住 一郎 北海道大学大学院医学

- 研究科神経機能学講座精神医学分野
 谷井 久志 三重大学大学院医学部
 研究科神経感覚医学講座精神病態学
 鈴木 道雄 富山大学医学部精神神経医学教室
- <関連学会対応委員会> 4名
 委員長 佐野 輝 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科精神機能病学分野
 委員 井上 猛 北海道大学医学部精神医学
 氏家 寛 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科精神神経病態学教室
 上野 修一 愛媛大学大学院医学系研究科脳とこころの医学分野
- <編集委員会> 6名
 委員長 曾良 一郎 東北大学大学院医学系研究科神経・感覚器病態学講座精神・神経生物学分野
 委員 岡田 元宏 三重大学大学院医学系研究科神経感覚医学講座
 鬼塚 俊明 九州大学医学部精神神経科
 村井 俊哉 京都大学大学院医学研究科精神医学講座
 橋本 謙二 千葉大学社会精神保健教育研究センター病態解析研究部門
 福田 正人 群馬大学大学院医学系研究科脳神経精神行動学
- <広報委員会> 3名
 委員長 山脇 成人 広島大学大学院医療薬学総合研究科(精神神経医科学)
 委員 山田 光彦 国立精神・神経センター精神保健研究所老人精神保健部
 須原 哲也 独立行政法人放射線医学総合研究所分子イメージング研究センター分子神経イメージング研究グループ
- <ブレインバンク設立委員会> 23名
 委員長 丹羽 真一 福島県立医科大学医学部神経精神医学講座
- 委員 有馬 邦正 国立精神・神経センター病院臨床検査部
 池本 桂子 福島県立医科大学医学部神経精神医学講座
 石黒 浩毅 筑波大学人間総合科学研究科生命システム医学専攻遺伝医学分野
 入谷 修司 名古屋大学大学院医学系研究科精神医学分野
 尾崎 紀夫 名古屋大学大学院医学系研究科細胞情報医学専攻脳神経病態制御学講座精神医学分野
 笠井 清登 東京大学医学部附属病院精神神経科
 加藤 忠史 理化学研究所脳科学総合研究センター精神疾患動態研究チーム
 神庭 重信 九州大学大学院医学研究院精神病態医学分野
 國井 泰人 福島県立医科大学医学部神経精神医学講座
 齋藤 利和 札幌医科大学医学部神経精神医学講座
 澤田 健 高知大学医学部神経科精神科
 白川 治 近畿大学医学部精神神経科学教室
 富田 博秋 東北大学大学院医学系研究科精神神経生物学分野
 新里 和弘 東京都立松沢病院
 西川 徹 東京医科歯科大学大学院精神行動医科学分野医学部附属病院精神科
 布村 明彦 山梨大学大学院医学工学総合研究所精神神経医学・臨床倫理学講座
 橋本 恵理 札幌医科大学医学部神経精神医学講座
 橋本 隆紀 金沢大学精神科
 菱本 明豊 神戸大学大学院医学研究科精神医学分野

水上 勝義 筑波大学大学院人間総合科学研究科精神病態学分野
 本村 啓介 九州大学大学院医学研究院精神病態医学分野
 和田 明 福島県立医科大学医学部神経精神医学講座

<研究推進ワーキンググループ> 4名
 委員長 加藤 忠史 理化学研究所脳科学総合研究センター精神疾患動態研究チーム

委員 笠井 清登 東京大学医学部附属病院精神神経科
 佐野 輝 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科精神機能病学分野
 山脇 成人 広島大学大学院医療薬学総合研究科(精神神経医科学)

<うつ病対策ワーキンググループ> 11名
 委員長 神庭 重信 九州大学大学院医学研究院精神病態医学

委員 野村 総一郎 防衛医科大学校精神科学講座
 元村 直靖 大阪教育大学学校危機メンタルサポートセンター
 加藤 忠史 理化学研究所脳科学総合研究センター精神疾患動態研究チーム
 笠井 清登 東京大学医学部附属病院精神神経科
 久保 千春 九州大学医学部心療内科
 功刀 浩 国立精神・神経センター神経研究所疾病研究第三部
 山脇 成人 広島大学大学院医療薬学総合研究科(精神神経医科学)
 小山 司 北海道大学大学院医学研究科神経機能学講座精神医学分野
 尾崎 紀夫 名古屋大学大学院医学系研究科細胞情報医学専攻脳神経病態制御学講座精神医学分野
 福田 正人 群馬大学大学院医学系研究科脳神経精神行動学

2) 各委員会報告

①総務委員会(小山理事)

今後は、法人化など前委員会からの引継ぎ事項などについてあたっていくことが小山委員長より説明された。

②財務委員会(米田理事)

前委員である米田理事を委員長とし、染矢理事と協力して会務にあたることとなった。

③国際交流委員会(平安理事)

前理事会において2013年WFSBP大会の日本誘致を目指すことが決定されたのを受け、WFSBPワーキンググループを設置し活動開始し、ワーキンググループに1名を追加して国際交流委員会としたことなどが報告された。

また、武田理事長よりWESBP役員選挙について、日本からは次期Secretary/Treasurerとして平安理事を推薦することとなっており、日本が持つ6票を行使するために、武田理事長、加藤(進)理事、神庭理事、尾崎理事、平安理事、齋藤前理事がWFSBP理事会に出席する予定であることが報告された。

④学術賞委員会(加藤(忠)理事)

専門性と男女比などを勘案して委員会構成を決めたことなどが説明された。

⑤倫理委員会(本橋理事)

前期に症例報告の倫理規定を作成しており、引続き継続的に活動する予定であることが報告された。

⑥将来計画委員会(加藤(進)理事)

会員数拡大の方策、評議員の活性化、学術大会のプログラムの標準化、他学会との連合開催のあり方などについて取り進む予定であることが報告された。

⑦関連学会対応委員会(佐野理事)

今まで様々な学会と合同してきた経緯を踏まえ、合同年会開催だけではなく、合同シンポジウムなど他学会との関係に関して取り組む委員会であることが説明された。

⑧編集委員会（曾良理事）

福田理事を副委員長として、さらに充実した誌面にするよう努めるとともに、機関誌の在り方について再考することが報告された。

⑨広報委員会（山協理事）

学会ホームページを充実させ、最新の情報を掲載できるようにすることが説明された。

また、稲垣正俊（国立精神神経センター自殺予防総合対策センター適応障害研究室）氏を委員として追加することとなった。

⑩ブレインバンク設立委員会（加藤（忠）理事）

実際に技術システムについて議論を進めるため、海外でのブレインバンクの経験のある委員を増員したことが報告された。

また、昨日に3回目の委員会を開催し、一次報告書を作成したこと、また今後はそれをブラッシュ・アップし、7月21日に開催される次回委員会において、清書しブレインバンク設立に対する経済的サポートなどを希求していくことが説明された。

⑪研究推進ワーキンググループ（加藤（忠）理事）

本邦では、厚生労働省において精神疾患は社会的に対応すべき障害という政策が基本になっており、一方で文部科学省管轄化の研究が動物実験中心となっており、臨床研究における生物学的研究に対する支援が少ない現状を変えるために設立されたことが説明された。既に、厚生労働省、文部科学省への働きかけや、脳科学戦略プログラムへの提案など活動を開始している。

⑫うつ病対策ワーキンググループ（加藤（忠）理事）

自由民主党笹川総務会長の「国会議員はうつ病にならない」発言に対し、倉知前

理事長がうつ病への理解を求める見解を発表したことを契機として設立されたことが報告された。今後は、自由民主党馳議員を通して、作成した提言を自由民主党のマニフェストに追加する。

6. 学術賞選考の件

第17回日本生物学的精神医学会学術賞受賞者について以下の通り受賞者が報告された。

授賞式は4月24日（金）17：30より京都国際会館「スワン」にて懇親会中に行われる。

受賞者：朴 秀賢（北海道大学大学院医学研究科神経病態学講座精神医学分野）

受賞論文：Glucocorticoids and lithium reciprocally regulates the proliferation of adult dentate gyrus-derived neural precursor cells through GSK-3 β and β -cetenin/TCF pathway.

掲載誌：Neuropsychopharmacology, Epub, Nov. 12, 2008

7. 国際学会発表奨励賞選考の件

国際学会発表奨励賞について、受賞者が以下の通り報告された。授賞式は学会賞と同様に4月24日に行われる。

< 2007年度後期 >

受賞者：池田 匡志（藤田保健衛生大学医学部精神医学教室）

発表演題：Failure to replicate the association between NRG1 and schizophrenia using Japanese large-sample

参加学会：World Congress on Psychiatric Genetics XV

受賞者：宮田 淳（京都大学大学院医学研究科）

発表演題：White matter pathologies in schizophrenia visualized by diffusion tensor imaging: their impact on psychopathology and social cognition.

参加学会：Neuroscience 2007

< 2008年度前期 >

受賞者：須田 真史（群馬大学大学院医学系研究科神経精神医学教室）

発表演題：Front lobe function in eating disorder

ders: a multichannel near-infrared spectroscopy

参加学会：第 26 回国際神経精神薬理学会

受賞者：滝沢 龍（東京大学大学院医学系研究科脳神経医学専攻精神医学）

発表演題：Effect of Sigma-1 receptor gene polymorphism on prefrontal hemodynamic response in schizophrenia: a multi-channel NIRS study

参加学会：アメリカ生物学的精神医学会第 63 回大会

8. WFSBP 報告（尾崎理事）

尾崎 WFSBP Secretary-Treasurer より以下の通り報告された。

①Constitution の改訂 Voting Power が 400 名以上の規定を策定した。

②9th World Congress of Biological Psychiatry
日時：2009 年 6 月 28 日～7 月 2 日
会場：Palais Des Congres De Paris（仏・パリ）

③ WFSBP の役員選挙について
平安理事を推薦することとなっている。

9. 新評議員選出の件（武田理事長）

①本年度の新評議員候補として、29 名が推薦されたことが報告され、会員歴・業績などの規定に合致していることが確認され、全員承認された。

②今後の評議員選出に際しては、現状の会員数と評議員数の比較から評議員数が若干多いとの指摘があり、今後、将来計画委員会におい

て検討されることとなった。

10. 第 31 回学会準備状況報告（林会長）

第 31 回年会の準備状況について以下の通り報告された。

会期：2009 年 4 月 23 日（木）～25 日（金）

会場：国立京都国際会議場

会長：林 拓二（京都大学大学院医学研究科脳病態生理学講座精神医学）

11. 第 32 回年会開催について（中村理事）

第 32 回年会の準備状況について以下の通り報告された。

会期：2010 年 10 月 7 日～9 日

会場：リーガロイヤルホテル小倉（予定）

会長：中村 純（産業医科大学精神医学教室）

※第 22 回日本アルコール精神医学会、第 45 回日本アルコール薬物医学会学会、第 13 回ニコチン薬物依存フォーラムと同時開催。

12. 第 33 回年会について（武田理事長）

日本精神神経学会（東京：2011 年 5 月 19・21 日）と合同開催してはどうかという提案があり、様々な意見があり、近接した時期に近接した会場で開催する形が検討され、概ね了解された。

会長として、加藤（進）理事が推挙され、満場一致で承認され、加藤（進）理事が受諾した。

13. その他（武田理事長）

副理事長について、米田財務委員長、小山総務委員長、加藤（進）将来計画委員長が任命され、承認された。

以上にて閉会